

遊具の点検について

1 点検の目的

点検は、遊具の危険を早期に発見し、事故を予防するための有効な手段であり、子どもたちが安心して楽しく遊べるように行うもので、以下の3つの点に気をつけましょう。

①遊具について

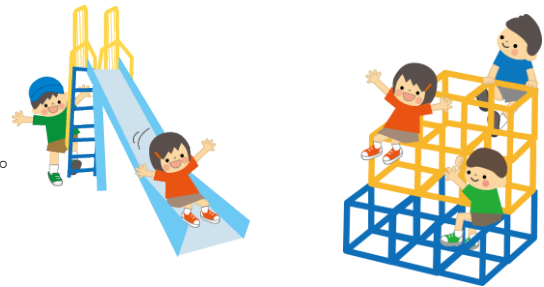
- ・遊具に異常（破損・腐食など）はないか。
- ・ヒモなどが引っ掛かる、絡まる、外れにくいようなボルト類の浮き上がりはないか。
- ・手や指が挟み込まれるような隙間はないか。
- ・遊具に落書き等はないか。

②周辺の状況について

- ・石やガラスの破片等が落ちていないか。
- ・周囲に障害となる木の枝等はないか。

③接地面について

- ・遊具の設置部分の基礎が地表に露出していないか。
- ・接地面に大きくくぼみはないか。
- ・水はけはよいか。



2 点検の心構え

①子どもの目線で見ると

子どもの目線までしゃがんで見ることで、隠れた危険を発見できることもあります。また、子どもたちの遊び方をよく観察することで、大人の想像を超えた危険な使い方や遊び方を発見できることもあります。

②体を使って点検する

子どもたちが本気で遊ぶときの力は、想像を超えるものがあります。点検の時は、全身を使って、触って、揺らして、乗ってみて、異常な音やぐらつきなどがないか確認しましょう。

3 素材点検の視点

①金属類

- ・傷、へこみ、塗装の剥がれによる錆、劣化、腐食はないか。
- ・直接地面に接する支柱等に腐食はないか。
- ・可動部分（回転軸・ベアリング・軸受け類）の変形や磨減はないか。
- ・つなぎ目部分のボルト類の緩みや脱落、継手金具の破損はないか。

②木質類

- ・腐朽、ひび割れ、ささくれ、摩耗、折れ、たわみなどはないか。
- ・直接土に接する支柱等に腐食はないか。
- ・つなぎ目部分のボルト類の緩みや脱落はないか。

③プラスチック類

- ・欠け、ひび割れ、波打ち、湾曲、損傷はないか。
- ・摩耗によるガラス繊維の表面露出、変形はないか。



4 点検の方法

①目視 … 正しく設置されているか、不足部品がないかを確認するとともに、破損、変形、劣化などを調べる。

②触診

- ・振動 … 揺り動かすことで、ぐらつきや安定度を調べる。
- ・負荷 … 重量をかける、押す、引くなどの負荷をかけて十分な強度があるかを調べる。
- ・作動 … 動く部分については、回転、上下、左右、前後などが潤滑に作動するかを調べる。

③聴診 … ブランコやシーソーなど動く構造のある遊具において、実際に動かして、そこから発生する音で、異常の有無を調べる。

④打診 … 金槌等で叩いて音を聞き、破損、亀裂、腐食などを調べる。